

「変容する現代世界と歴史認識・歴史教育の課題」

《趣旨》 グローバル化の果てに深刻な「分断」の進行、新たな「戦争」の脅威にさらされつつある現代世界において、歴史認識と歴史教育が持つ意味について改めて考えます。歴史認識の重要性を日本・アジア・世界をつなぐ多面的・複眼的な視角から論じると同時に、現在の社会における歴史認識・歴史教育が抱える課題を多様な視点から検討し、科学的・客観的な歴史研究、現代を生きる世界の市民のための民主的歴史教育と歴史実践の発展の展望を探ります。

《日 時》 2022 年 10 月 2 日（日）13：30～17：30

《開催形式》オンライン形式（参加費無料・要事前申込）

参加希望者は以下の申込用フォームよりご登録ください。（※9 月 22 日まで。ただし申込者数が上限に達した段階で締切とさせていただきます。）後日、接続用 URL を送付します。

<https://forms.gle/Hro61vStcdqNxgwW9>

《プログラム》

13：30 開会の辞：久留島典子（日本学術会議連携会員、神奈川大学教授）

13：40 趣旨説明：栗田禎子（日本学術会議会員、千葉大学教授）

第Ⅰ部：歴史認識と現代世界：日本のアジア認識と歴史認識問題

司会：平野千果子（日本学術会議連携会員、武蔵大学教授）、

久保亨（日本学術会議連携会員、信州大学特任教授）

13：50 報告 1：日中／日台関係と歴史認識問題——社会的「分断」と歴史政策

川島真（日本学術会議連携会員、東京大学教授）

14：20 報告 2：東アジアにおける歴史認識の課題

鄭在貞（ソウル市立大学名誉教授）

14：50 コメント：認識と問題をグローバルな文脈に置き直す

井野瀬久美恵（日本学術会議連携会員、甲南大学教授）

休憩（15：10～15：20）

第Ⅱ部：討論

司会：大日方純夫（日本学術会議連携会員、早稲田大学名誉教授）、栗田禎子、

中村元哉（日本学術会議連携会員、東京大学教授）

討論者：歴史教育の視点から・・・坂井俊樹（日本学術会議連携会員、開智国際大学教授）

史料保存・社会のなかの歴史実践の視点から

・・・奥村弘（日本学術会議連携会員、神戸大学教授）

ジェンダー史の視点——史学委員会ジェンダー史委員会の取組・議論から

・・・長志珠絵（日本学術会議連携会員、神戸大学教授）

パブリック・ヒストリーの視点から

——〈過去に対する真摯さ〉からプラクティカル・パストの構築を検証する

・・・北條勝貴（上智大学教授）

16：30 総合討論

17：30 閉会の辞：佐野正博（日本学術会議会員、明治大学教授）

《主催》日本学術会議 史学委員会、歴史認識・歴史教育に関する分科会

《連絡先》 [jimukyoku-20221002\(a\)hotmail.com](mailto:jimukyoku-20221002(a)hotmail.com) ※ (a) を@にしてお送りください。